

栃木県及び周辺の地震活動（令和 7 年 10 月）

【地震活動概況】

今期間に県内で観測した最大震度は 4 でした。期間内に県内で震度 1 以上を観測した地震は 10 回（前月 9 回）、震度 3 以上を観測した地震が 3 回（前月 1 回）ありました。

【栃木県及び周辺の地震活動】

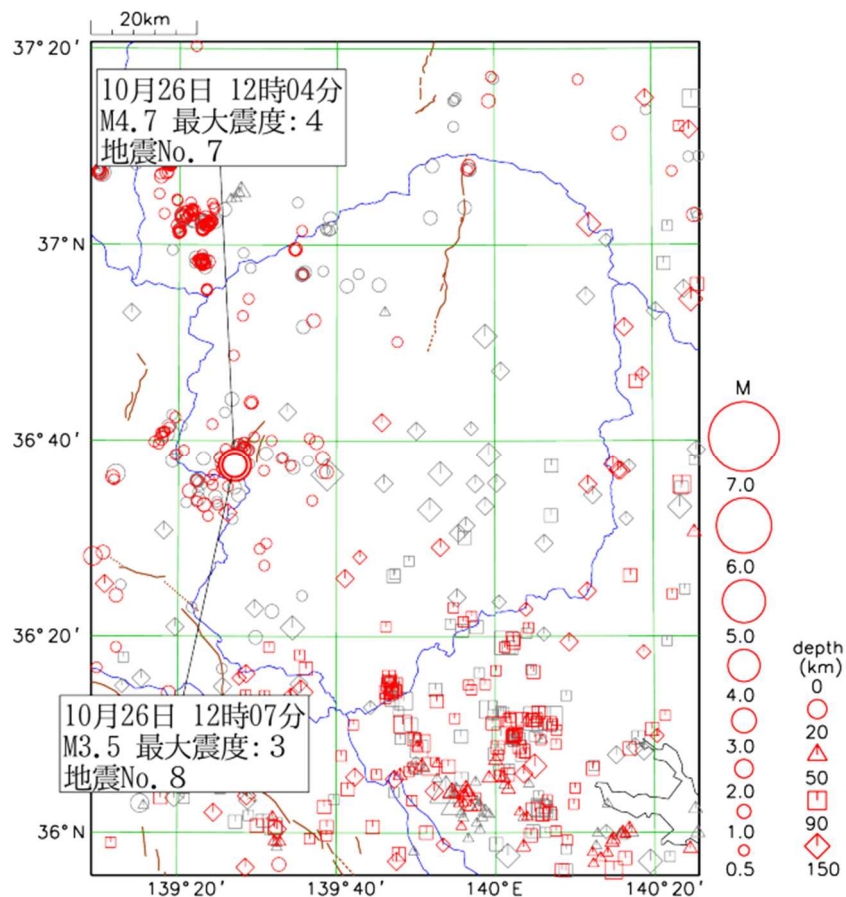


図 1 震央分布図（2025 年 9 月 1 日～2025 年 10 月 31 日）

- ・今期間の地震活動を赤色で、前月の地震活動を灰色で示しています。
- ・図中の吹き出しを付けた地震は、県内震度観測点で震度 3 以上を観測した地震及び県内を震源とする震度 1 以上を観測した地震です。地震 No. は県内で震度 1 以上を観測した地震のリストに対応しています。
- ・M はマグニチュードで 0.5 以上、深さ（depth）は 150km までの地震を示しています。
- ・図中の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

本資料は国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。※データについては精査により、後日修正することがある。また、本資料中で使用している地図は、『数値地図 25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

【10月に県内で震度 1 以上を観測した地震のリスト】

地震 No.	発震時		震央地名	北緯	東経	深さ (km)	マグニ チュード	国内最 大震度	県内最 大震度
	月日	時分							
1	10月3日	12時48分	東京湾	35° 31.8'	139° 53.2'	112	4.1	2	1
2	10月3日	15時20分	福島県沖	37° 16.3'	141° 15.3'	55	4.4	3	1
3	10月5日	0時21分	福島県沖	37° 25.1'	141° 35.1'	45	6.0	4	3
4	10月7日	9時30分	福島県沖	37° 31.8'	141° 22.4'	52	5.0	4	2
5	10月24日	6時09分	福島県沖	37° 26.7'	141° 50.5'	50	4.9	3	2
6	10月24日	15時47分	千葉県北西部	35° 48.3'	140° 07.3'	69	4.0	2	1
7	10月26日	12時04分	栃木県北部	36° 37.4'	139° 27.1'	5	4.7	4	4
		12時05分	栃木県北部	36° 37.3'	139° 27.6'	6	2.8		
8	10月26日	12時07分	栃木県北部	36° 37.4'	139° 27.1'	5	3.5	3	3
		12時08分	栃木県北部	36° 37.5'	139° 27.0'	5	2.5		
9	10月26日	22時34分	千葉県北西部	35° 48.0'	140° 05.8'	69	4.3	2	2
10	10月30日	17時00分	福島県沖	37° 07.7'	141° 22.2'	5	4.7	2	1

- ・地震No. 7・8の地震は、短い時間の内に起きたため、地震と震度の分離ができませんでした。
- ・各地震の震度 1 以上を観測した観測地点名については、気象庁HP「震度データベース検索」により確認できます。

<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

【震央分布図範囲内の地震】

1. 栃木県北部（地震No. 7、No. 8）

26日12時4分に栃木県北部で発生した地震（深さ5km、M4.7、他）により、栃木県で震度4を観測したほか、宮城県、福島県、新潟県、関東甲信地方、及び静岡県で震度3から1を観測しました。栃木県では日光市で震度4を、5市町で震度3を、18市町で震度2から1を観測しました（図2）。

また、26日12時7分に栃木県北部で発生した地震（深さ5km、M3.5、他）により、栃木県で震度3を観測したほか、茨城県、群馬県及び埼玉県で震度1を観測しました。栃木県では日光市で震度3を、9市町で震度1を観測しました（図3）。

今回の地震を含む足尾地域の過去の地震活動をみると（図4、青矩形内）、ここ30年では最大M4.8の地震があり、今回の地震もそれに近い規模でした。また、地震活動経過図・地震回数積算図（図5）から、この地域は数年に1回のペースでM4を超える地震が起きています。よって、現時点では今回の活動は通常の活動の範囲内とみられます。

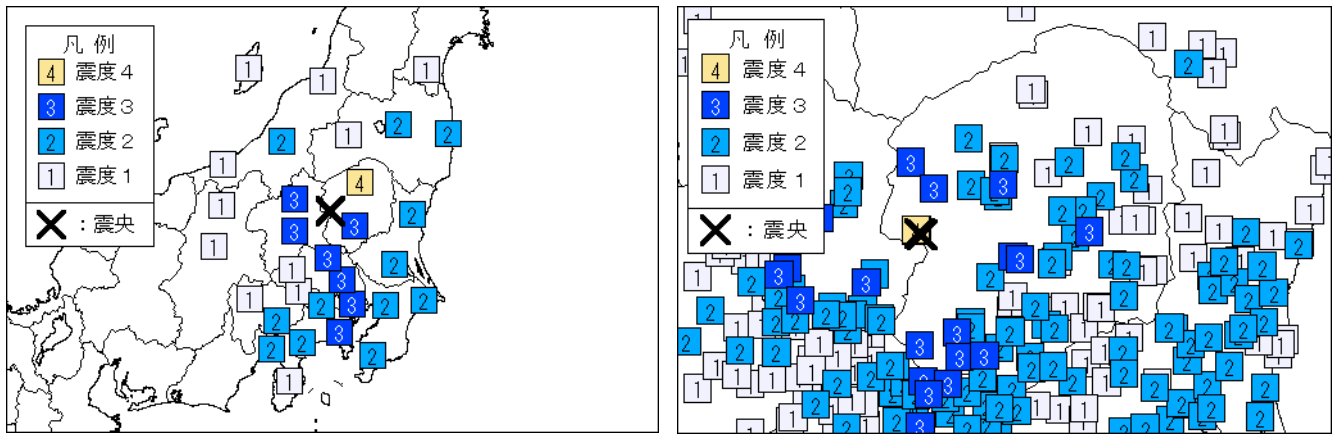


図2 26日12時4分 栃木県北部の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

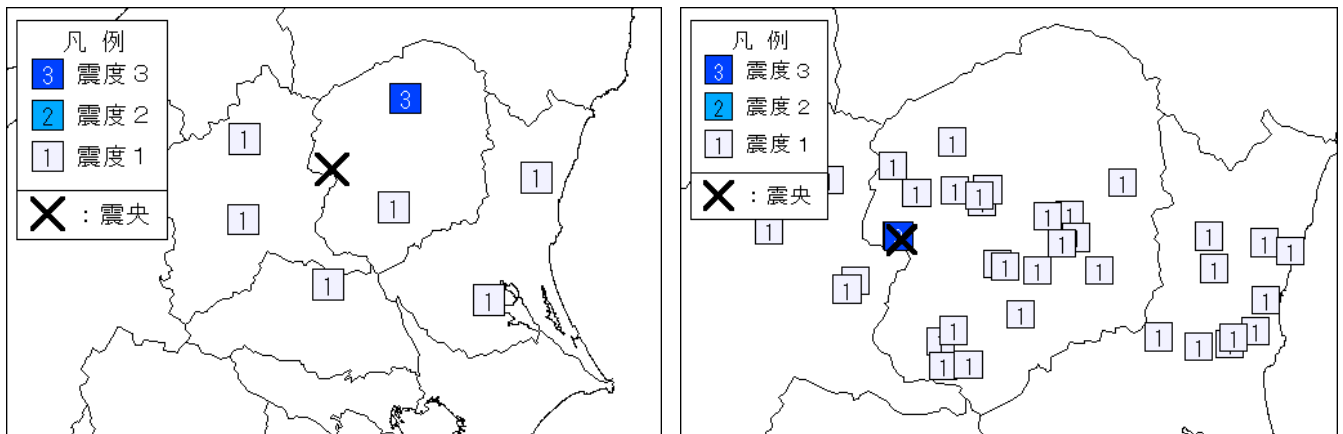


図3 26日12時7分 栃木県北部の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

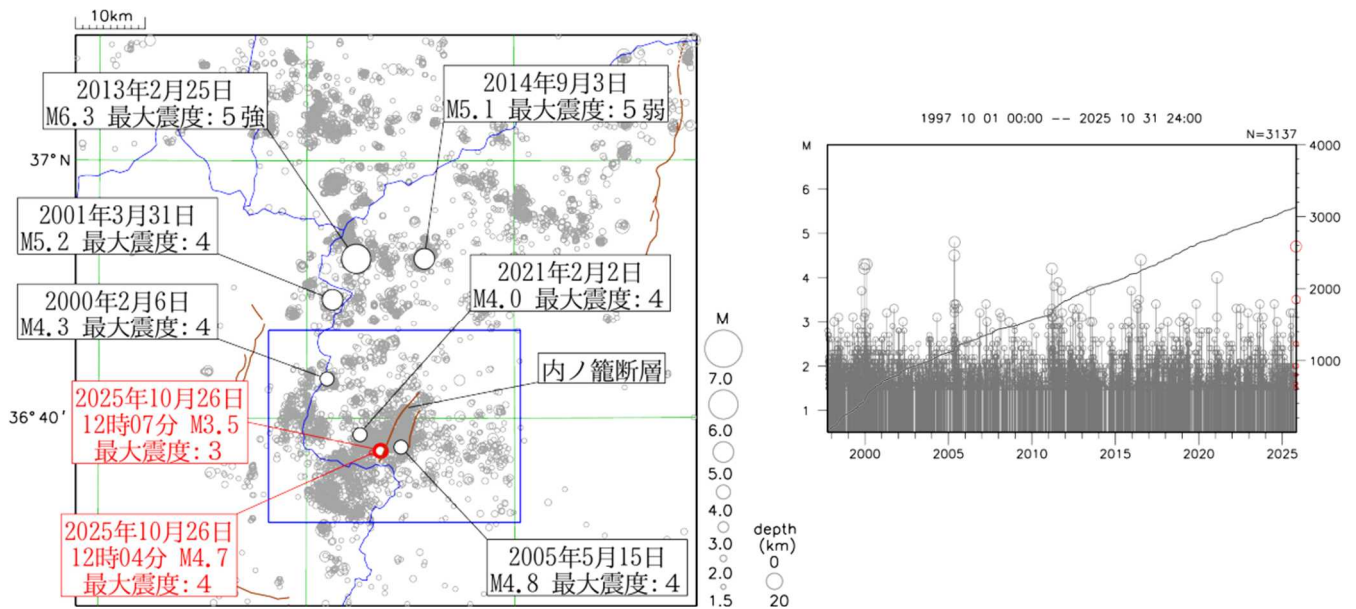


図4 26日12時4分に栃木県北部で発生した地震（深さ5km、M4.7）周辺の震央分布図

1997年10月から2025年10月まで、深さ20km以浅、M1.5以上の地震をプロット。赤色の地震は2025年10月26日以降に発生した地震、吹き出しをつけた地震は周辺で発生した主な地震、茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

図5 図4青矩形内の地震活動経過図・地震回数積算図

横軸が時間、縦軸が地震の規模、折れ線が地震積算回数を示し、2025年10月26日以降の地震を赤色としている。

【震央分布図範囲外の地震】

1. 福島県沖（地震No. 3）

5日0時21分に福島県沖で発生した地震（深さ45km、M6.0）により、福島県で震度4を観測したほか、東北地方、新潟県、関東甲信地方及び静岡県で震度3から1を観測しました。栃木県では大田原市、高根沢町、那須町で震度3を、22市町で震度2から1を観測しました（図6）。

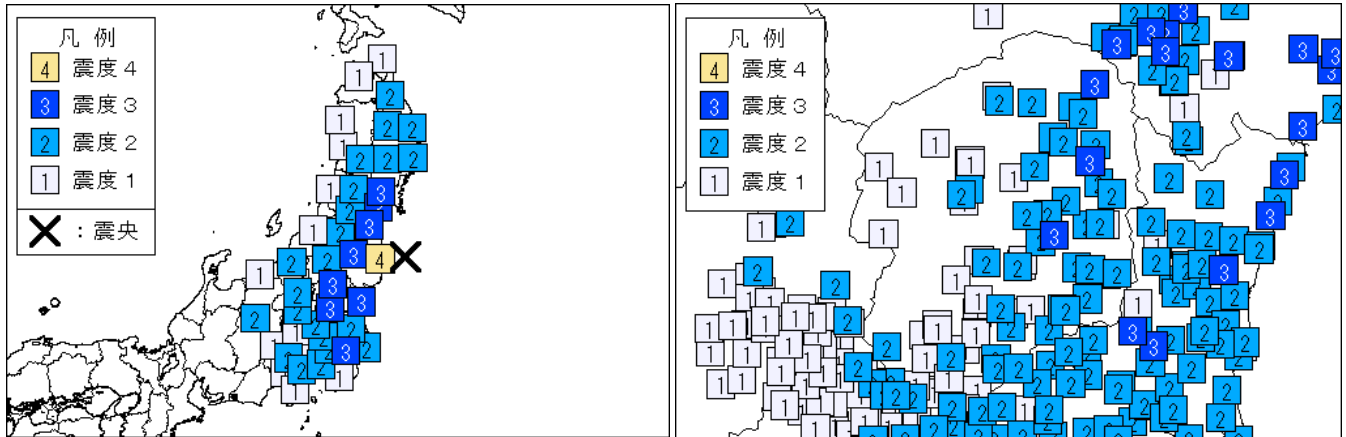


図6 5日0時21分 福島県沖の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

【防災メモ】津波防災の日について

11月5日は「津波防災の日」です。これは、1854年11月5日の安政南海地震（M8.4）で和歌山県を津波が襲った際に、稲に火を付けて、暗闇の中で逃げ遅れた人々を高台に避難させて多くの命を救った「稲むらの火」の逸話にちなんでいます（図7）。「稲むらの火」は戦前の国語教科書に掲載され、地震後の津波への警戒と早期避難の重要性を伝える優れた防災教材として紹介されました。

この逸話は栃木県に住んでいる私たちにも大きな学びを与えてくれます。何故なら私たちが海沿いの地域に出向いた際、たまたまそこで津波に遭遇するかもしれないからです。また、危険なのは海沿いだけではありません。海沿いの河川を伝って津波が遡上し、陸地の奥深くまで到達する河川津波というものもあります。河川では陸上と比べて障害物が少ないため、津波の勢いが衰えにくく、より早く、遠くまで到達する特徴があります。東日本大震災の時、宮城県の上川では河口から約50km上流まで津波が遡上して大きな被害をもたらしました。このように海沿いの河川でも津波が遡上してくることがありますので、強い揺れを感じたら海岸地域だけではなく海沿いの川から離れることも必要です。海沿いの地域にお出かけになる場合には事前に避難場所や避難経路の確認を行い、強い揺れや長時間の揺れを感じたら、津波警報・注意報の発表を待たずに海岸や川から離れてできるだけ高い場所に避難することが大切です。

寒さも一段と増してきた現在では海で遊ぶ機会は少なくなりましたが、「津波防災の日」をきっかけに津波について思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。

- ・ 津波防災特設サイト（内閣府）

<https://tsunamibousai.jp/>

- ・ 稲むらの火

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami/inamura/p2.html>

- ・ 稲むらの火と津波対策（内閣府）

https://www.tokeikyou.or.jp/bousai/inamura-top_j.htm

- ・ 津波警報・注意報、津波情報、津波予報について

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/joho/tsunamiinfo.html>



図7 広村を襲う安政南海地震津波（1854年）の実況図（吉田庄右衛門著「安政聞録」より、養源寺蔵）

資料についての問い合わせ先：宇都宮地方気象台 電話 028-635-7260